

だいがく
大学

先生や職員が協力し、学生から地域の人まであらゆる学びの場を提供します。

学校法人明星学苑 明星大学

所在地／日野市程久保2-1-1 TEL.042-591-5111 <https://www.meisei-u.ac.jp/>

開学／1964(昭和39)年4月 教職員数／1,156名(2024年5月現在)

もっと、くわしく
みてみよう!

私たちの仕事

9学部12学科、さらに2023年4月にはデータサイエンス学環という新しい学びの分野も誕生し、多くの学生が幅広い領域を学ぶ大学です。快適で楽しい学生生活が送れるよう、専門分野の先生やさまざまなサポートをする職員が働いています。地域交流も積極的に行っており、小学生向けの体験教室を行うなど、大学生以外にも開かれたキャンパスです。



▲キャンパス



大学の中にはどんな施設がありますか？

勉強するための教室や図書館、体育館など小学校にある施設のほか、学生生活が快適で楽しいものとなる場所がたくさんあります。



展望談話室

19階にあり、多摩の街並みや富士山まで見渡せます。

天文台

一般の天文台と同じ規模の望遠鏡を備えています。

フィットネスルーム

学内にジムがあり、トレーニングができます。

さくらカフェ

おいしいパンやジェラートなどが味わえます。



大学にはいろいろな人が働いています

授業をする先生、学生の健康や就職活動をサポートする職員、キャンパス内の設備の安全管理をしている職員など、いろいろな人が働いています。



小学生でも大学で学べるって本当？

学生が中心となって、夏休みに地域の小学生を対象に行っている学習イベントがあります。興味がある人はぜひ参加してみてね！

サマースクール

楽しく分かりやすく英語を学べるイベントです。



プログラミングパーク CABA(カバ)

簡単にプログラミング体験ができるイベントです。



地域との交流も大切にしています

学生が自分の好きなことや得意なことをいかし、多摩地域の人たちのためにさまざまな活動を行っています。

「イオンモール多摩平の森 10周年」のシンボルデザインを制作

デザイン学部デザイン学科の学生が「イオンモール多摩平の森 10周年シンボルデザイン」を制作しました。キャッチコピーやキービジュアル、10周年をお祝いするための「たま」というキャラクターをデザインし、10周年を記念したイベントなどに使われています。



日野市・多摩市の観光地などを巡るデジタルスタンプラリー企画に協力

経営学部経営学科の学生が、日野市・多摩市のロケ地や観光地を巡りながら、それぞれの市の魅力に触れてもらう「ひの・たまデジタルスタンプラリー」という企画に協力をしました。スタンプを集められる「チェックポイント」となる場所の写真撮影やそれぞれの紹介文の作成をしています。



はたらひとこえ 働く人の声

情報学部情報学科 教員
山中 脩也さん



教職センター 職員
荻原 茗子さん

論文を書いたり、学生へ授業を行なうが、学外では他の研究機関の研究者との打ち合わせを行うなど、大学教員の仕事はさまざまです。必ずしも答えがあるわけではない仕事ですが、試行錯誤しながら楽しく取り組んでいます。

学校の先生を目指す学生を支援する「教職センター」で働いています。学生が先生になる夢を叶えたときは、とてもうれしいです。大学職員の仕事は、さまざまな分野がありますが、どの仕事も、学生のために何ができるか、考えながら取り組んでいます。

